

The background of the cover is a detailed illustration of a woman with short, wavy pink hair and round glasses. She has a smug expression and is wearing a white lab coat over a red top. Her arms are wrapped in white bandages. Several red, fleshy tentacles are visible, some holding her arms and others reaching towards the viewer. The background is a dark, textured purple.

ヌメルダ
博士の

触手
研究報告

本編25p+おまけ3p
表紙等込み全31p

ヌメルダ
博士の

触手
研究報告





とある情報を聞きつけ闇のルートから高額で
極秘映像の記録された水晶板を入手した貴方は
誰にも見られぬよう自宅の地下室に潜り込み
息を吞んでそれを起動した――

ほ^んゃあ...

やあやあご機嫌よう！
この度の多額の出資
誠に感謝する

共にリスクを負ってくれた
物好きな同志諸君らへ
敬意と信頼を表して
名乗らせて戴こう

私の名はミリーヌ・メリダ
気軽にヌメルダ博士と
呼んでくれても構わないぞ

……まあ最も
我々が会合する事があるとするならば
それはきつと王国の地下牢だろうがね



さて縁起の悪い冗談は
程々にして本題に入ろう

ぬすぢあ

これは私の研究室
生きた肉で覆われた謂わば
触手の花壇の様なものだ

多種多様な魔物の触手のみを収集し
観察・培養・改造などの実験を行っている

ぬすぢ

生憎^{あいにく}今回でその全てを
お見せする事は出来ないが

あ、そうそう

この映像は研究資料の名目で
諸君らにお届けしている
従って要所で軽く解説を
挟ませてもらうよ

もしもの時余計な罪状が増えては
文字通り死活問題だからね

前置きは以上だ
お待ちかねの研究報告を
楽しんでくれたまえ

お気に召すものがあれば幸いだ

にゅるん

にゅろお

にゅ

先ずは最もポピュラーな
ネブネブの触手からご紹介しよう
あらゆる有触手魔物の原種であり
進化の余白を多分に含んだ
素晴らしい研究対象だ

彼らは非常にデリケートで摩擦や乾燥に弱く
その薄い表皮を粘液で覆う事で保護している
この粘液には衣服などをはじめとした
生体反応のない繊維や古い細胞などを
溶解する性質を持っているものが多い

これは獲物を捕食する際に
予め消化・吸収を助ける為のもので
我々にとっての唾液に相当する
研究が進めば医療や美容品等
様々な分野で活用出来るはずだ

実際に衣服を溶かすところを
お見せ出来ないのは忍びないが
なにぶん火の車だね

新しい服を買う金を
捻出する余裕など無いんだ

おねえ...
たふん♡

ぬすち

ドキ
ドキ

にゅん
にゅん

ヌル
ヌル...

さて触手系の魔物は繁殖期が近付くと哺乳類の雌を苗床にするべく捕獲し飼いつづらすという生態が多数確認されている



今回は彼らがどの様に捕らえた雌を手籠めにするのかその一部始終をご覧いただく

身体をじっくりと撫で回して発育具合を確認



適性を認められれば捕食を免れ苗床とする下拵えが始まる

彼らの愛撫は紳士的でね按摩の如く乳房を揉みしだき血行を促進させたのち



焦らされ期待に膨らんだ乳首を優しく転がす

敵意が無いことを伝える様に
十分程度甘い刺激を与え続け
反抗心を懐柔し

受け入れ態勢が整った所でようやく
子宮に卵を産み付ける…というのが
本来の流れなのだが

主に酪農場や牧場等の
動物が多い場所に生息し
乳牛や山羊の乳を盗み飲む
酪農家の敵だ

ここで新たな研究対象のご紹介
プチュルバという魔物の触手だ

一見魔物そのものに見えるが
俺は蝶の回吻の様なので
本来本体は地中に潜んでいる

その生態から人間が牧畜を始めた頃に
進化した種であるという説がある

ぬちょあ…

べろあ♡

にゅる

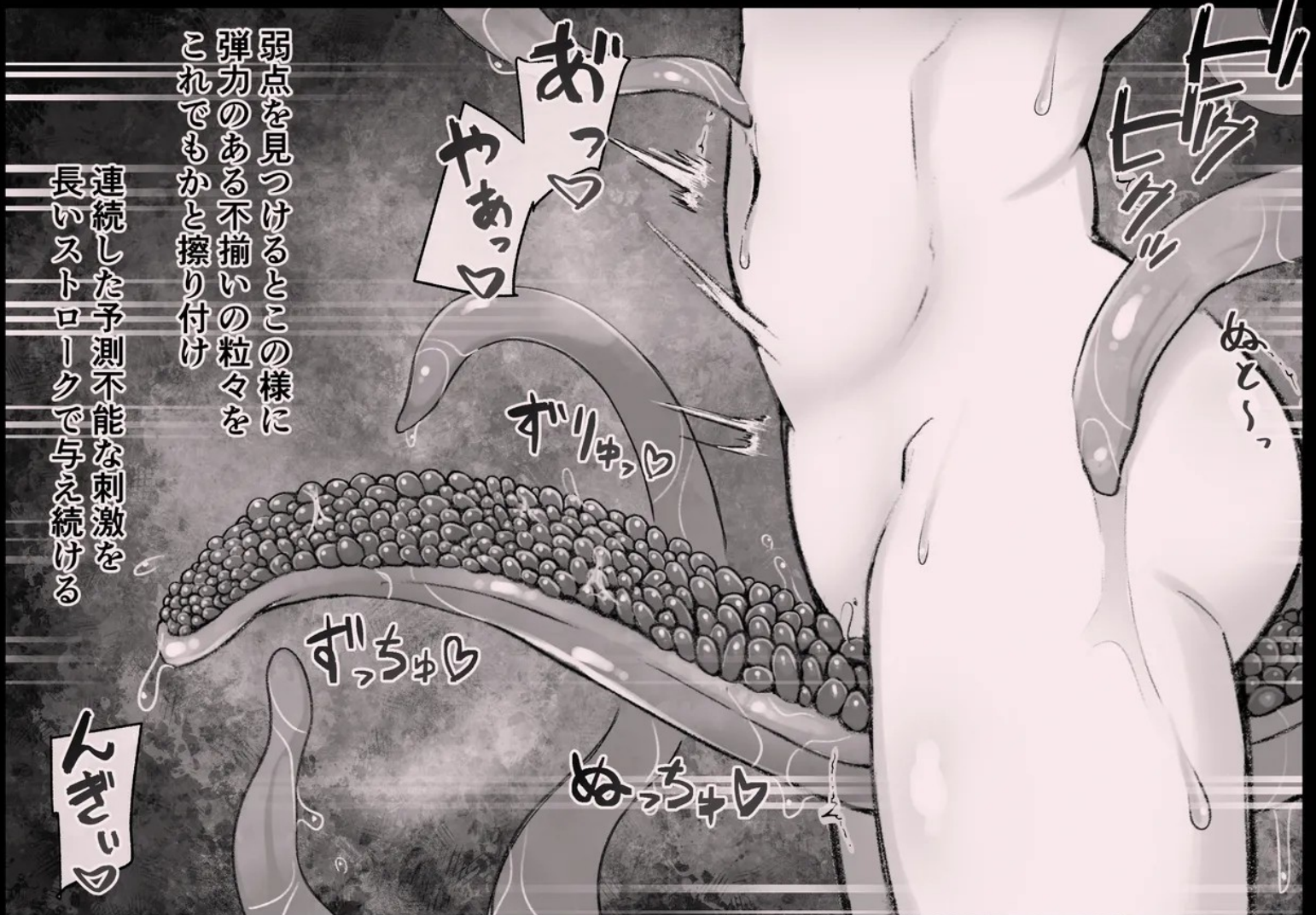
でん



温度や匂いの強い所を
重点的に調べるているようだ



全身を這い回り細かく反応を
見ながら弱点を探すのだが



弱点を見つけるとこの様に
弾力のある不揃いの粒々を
これでもかと擦り付け

連続した予測不能な刺激を
長いストロークで与え続ける

んぎ♡

機を伺い 快楽の波に抗おうと
する者も居るだろうが
並大抵の精神力ではまず耐えられない

試しに全力で我慢してみたのだが
彼らの特性を熟知したこの私でさえ



わずか十数秒でこの通りだ
むしろ我慢した分だけ余計に
体力を消耗してしまう

実際はこの二種に
同時に攻め
られることは
無いだろうが

それを差し引いても
余りある快楽である事は
私が保証しよう



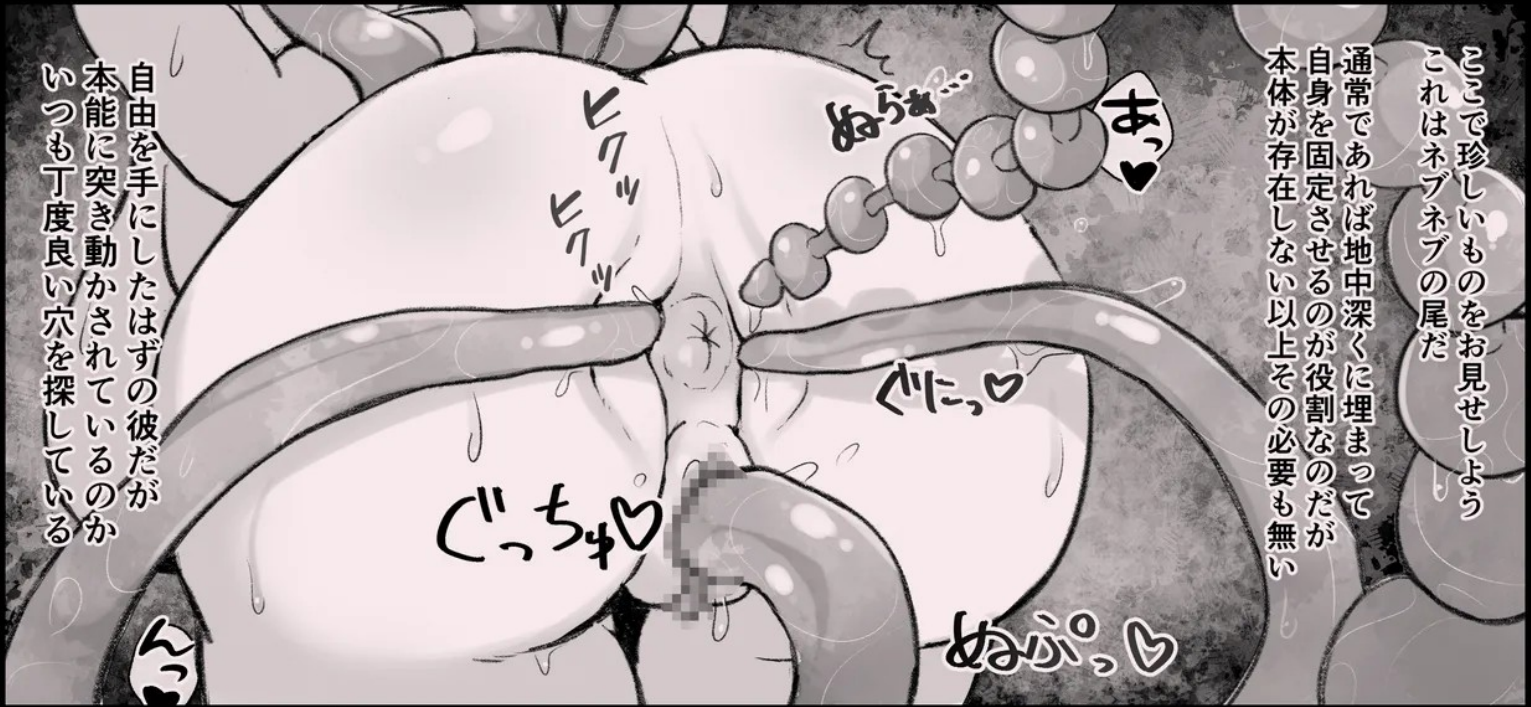


ネブネブの触手が内見を始めたね
牝卵をするにあたって
どの位の数を産み付けるか
子宮や産道の具合を入念に
チェックして判断すんだ
ウシやウマならば約五十個
ヒトであれば約二十個程度
卵を産み付けられるのだが
まともに成育し
生まれ落ちるのは
大体半数ほどだ

ここで珍しいものをお見せしよう
これはネブネブの尾だ

通常であれば地中深くに埋まって
自身を固定させるのが役割なのだが
本体が存在しない以上その必要も無い

自由を手にしたはずの彼だが
本能に突き動かされているのか
いつも丁度良い穴を探している

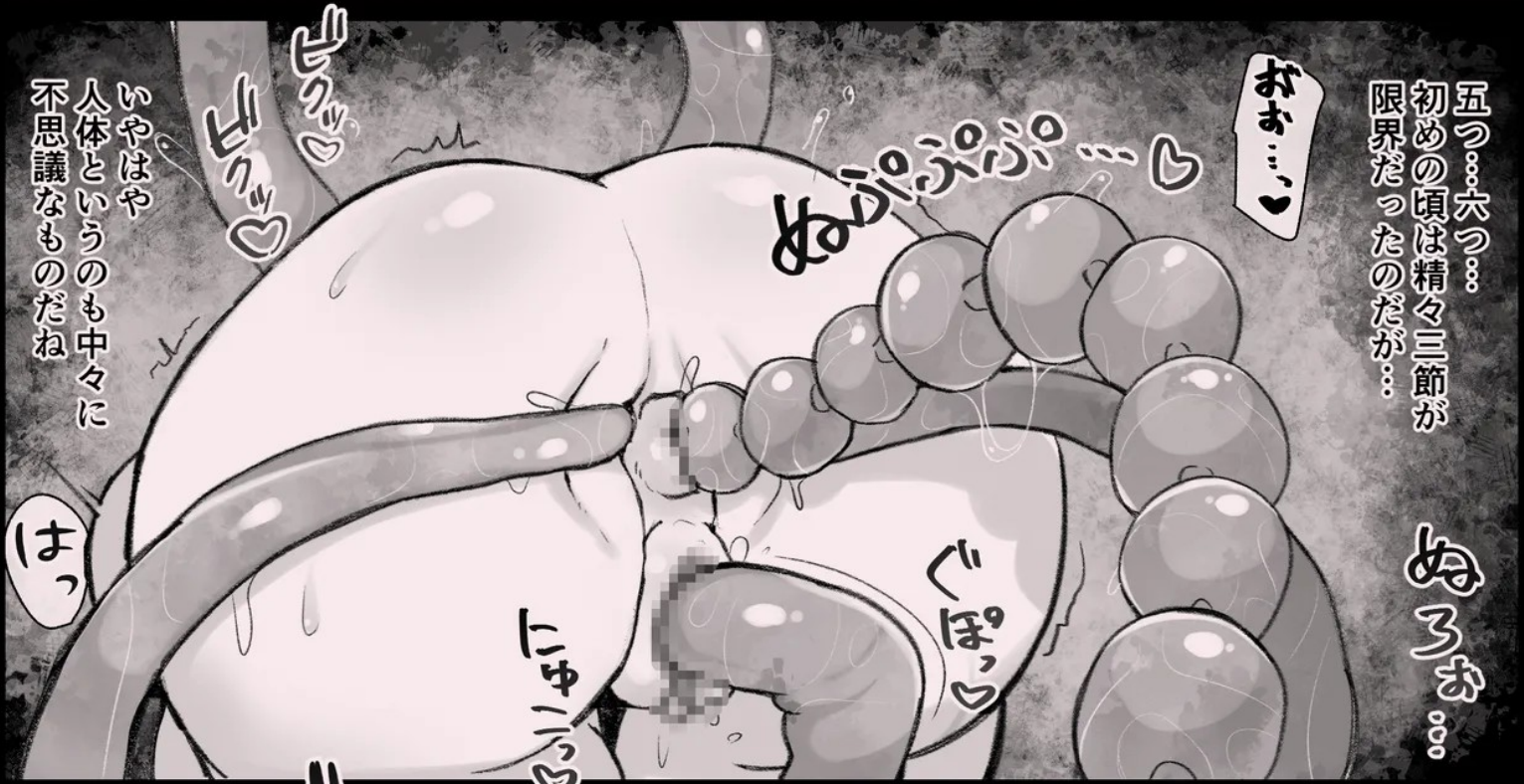


五つ…六つ…
初めの頃は精々三節が
限界だったのだが…

おお…♡

ぬろお…

いやはや
人体というの中々に
不思議なものだね



おっと残念もう少しで
記録更新だったのに

お耳汚し失礼
この一氣に引き抜かれる瞬間
背筋を電流が駆け巡るんだ



その後もしばらく直腸と膣壁を
好き放題にこねくり回され

つぶつぶ...

くにくに♡

ちゅぽ♡

いっ♡
ちゅ♡

この目は体力が底をつくまで
休み無く絶頂を繰り返して
一日を終える事になった

お♡
いぐ♡

またいく♡

お♡
ほお♡

お♡
お♡

ぞくぞく♡

じっ

キュー♡

びん♡
♡

キュー♡

目が変わって次は
私の最近のお気に入り
ネットチュクパスの触手だ

ネットチュクパスはタコ系統の魔物で
吸盤を有する触手を持っており
武器等の人工物を駆使して戦う
知能の高さが有名ではあるが

切り離されたこの子達は攻撃性も低く
原始的な行動しかない



この習性が頭脳と関係無く
行われているところを見るに
これこそが彼らの知性の高さを
引き出している重要な要素だと
私は考えている

へちっ

ベチンッ

んっ♡

触れる・締め付ける・吸い付く・叩く……
そうして得た経験を知識とするために
遺伝子レベルで『遊び』が触手自体に
組み込まれているのではないかとね

タコ特有の狭い穴に
隠れたがる習性も健在だ

ぬっ♡

ぐちゅ♡

じゅぽっ♡

ゴツゴツとした吸盤が
無遠慮に肉を掻き分け――

おが

当然内側も吸い付かれる訳だが……
この感覚は他では味わえないだろうね

おっ♡
しきんっ♡

こめすこっ♡

ぎゅっ♡

ちゅっ♡

コリゅっ♡

ニリゅっ♡

むぎゅっ♡

イっ♡
おこっ♡

いくっ♡

いぐいぐっ♡
ぐぐっ♡

ドクッ♡

余談だがこうして
至る所にキスマークを
付けられていると

すぢぢ♡

ん♡
ぢゅぽ♡

なんだか愛されている様な
心が満たされる感覚に
染められてしまってね

キュッ♡

ぢゅぽ♡

ぢゅ♡

め♡

ぢゅ♡

リクッ♡

にゅ♡

にゅ♡

おっ..

キュン♡
キュン♡

元々そっちの趣味は無かったのだが
研究の一環としてこの子達と触れ合う内に
マゾヒズムに目覚めてしまったようだ

クチュ♡

んぎっ
くっ

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ…♡

さて触手の中には毒を持つものもある
致死性のものや身体の自由を奪うもの
そして特に私が興味を抱いているのは
記憶に干渉するものだ

今まさに私の脳に直接
その毒を注入しているのが
ズニユチュというネブネブの
亜種の魔物が持つ触手だ

グッ
ッ

グッ
ッ

この毒に侵されると
一時的に十年分以上の
記憶を奪われてしまう

あッ♡

くちゅ♡

はっ♡

はっ♡

くちゅ♡

はまっ♡

えっ♡

見たまえ
思考を白く塗りつぶされ
理性の呪縛から
解放された者の顔だ

実に幸せそうだな

ここから先は記憶がないのだが
：おや？これは驚いた

ぬっ
ぬっ
ぬっ

彼らが記憶を奪うのは
卵を運ばせて生息域を
拡大させる為であるが

ズニユチュの卵管だね
彼らもネブネブ同様
托卵によって繁殖する

フッ
フッ

んんん
んんん

んんん
んんん

フッ
フッ

んんん
んんん

単に苗床として
捕えたままにする
こともある

んんん
んんん

まさか取り寄せた触手の中に紛れ込んでいたとは
今まで気が付かなかったよ

ぬっ
ぬっ
ぬっ

んんん
んんん

まんまと子宮に
卵を産み付けられて：
いやはや油断していたよ

んんん
んんん

映像に残しておいて助かった
あとで駆虫薬を飲んでおかないと

そしてこれがズニユチュの生殖器
人間のそれに似た形をしているのは
メインターゲットである我々に
適応した事を意味している



なんとこの生殖器精液だけで無く
媚薬効果のある体液も放出する事が可能で

ヌル...

獲物の警戒心を解きそれを飲ませるため
果実の様な甘味のある粘液を体表に纏っているんだ

ヌト...

みちゅ♡

ふふふこれがまんまと
術中にはまる
無様なメスの姿だ

はーっ♡

ねろっ♡

ねろっ♡

はーっ♡

意識が混濁しているとはいえ
なんともまあ美味そうに
むしゃぶりつくものだな

んもっ♡

じゅるるるっ♡

じゅるるっ♡

ちゅぽっ♡

んもっ♡

ズニユチュ特製の媚薬は即効性が高い
一度飲み込んでしまおうとおしまいだ



真っ白だった脳内は一気に
ピンク色に塗り替えられ

ひたすらに与えられ続ける
未体験の快楽に耽溺し

今後の人生全てを彼らの苗床として
何の疑いも持たぬまま終える他ない



又々

♡ちゅ♡

駆虫薬を調合しなくては



ハ
チ
ン



少し席を外さ
せてもらおうよ

ばるんっ

トキ

抄

ほお♡

ぼるん♡

パン

ふう 酷い有様だね
お恥ずかしい限りだ

因みにミリーというのは
私の幼少期の愛称だよ
ざっと二十年分の記憶を
飛ばされたということか

そういえば諸君らは
こんな話を聞いた事が
あるだろうか



とある任務の遂行中に行方知れずとなっていた誇り高き王国の女騎士様が

使命を忘れ触手型の魔物の苗床に成り下がっていたという噂話なのだが…これは恐らくこのズニユチュに捕まったのだらう

媚薬漬けにされるだけならまだしも

大切な記憶そのものを奪われてしまった訳だ

国の為に女を捨てたはずの彼女にとって

ズニユチュが見せた夢は悪夢だったのかそれとも――

おっとそろそろ時間だね
ピアスが光り始めた

はまっ♡

はっ♡

ピカー

むねま…♡

いっ♡

ピクッ♡

はっ♡

うお…

まだ開発段階だがこの魔石には
任意のタイミングで触手を退ける
魔法を発動する仕掛けが施されている

もし不発に終わっていたら
私も今頃件の女騎士様と
同じ道を辿っていた事だろう

さて今回はここまでだ
楽しんでいただけただろうか

冒頭でもお伝えしたとおり
紹介した触手達は一部に過ぎない

ああそうそう
この映像は再生後数時間で
自動的に抹消されるように
細工してある

他の種類も見てみたいと思ったのならば
またの出資をお待ちしているよ

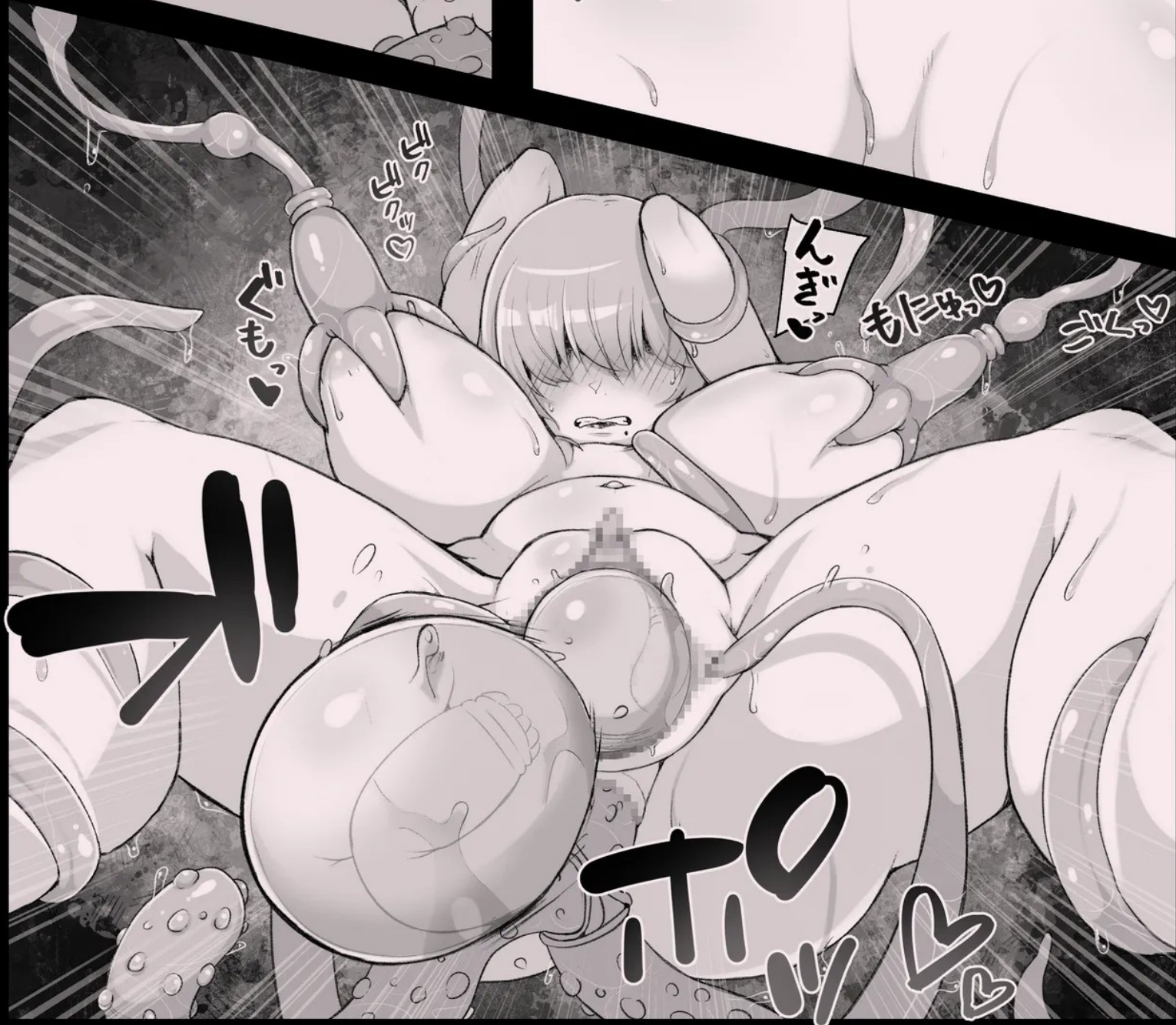
もし心当たりがあれば
信頼出来る新たな同士を
引き入れて貰えると助かる

名残惜しいかも知れないが
これもお互いの為だ
またこうして映像越しで
再会する事を願っているよ

それでは失礼する

おまけ
もしもピアスが正常に作動しなかったら…







はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

ぬちゅ

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

ゴ〇

ゴ〇

ぬちゅ...

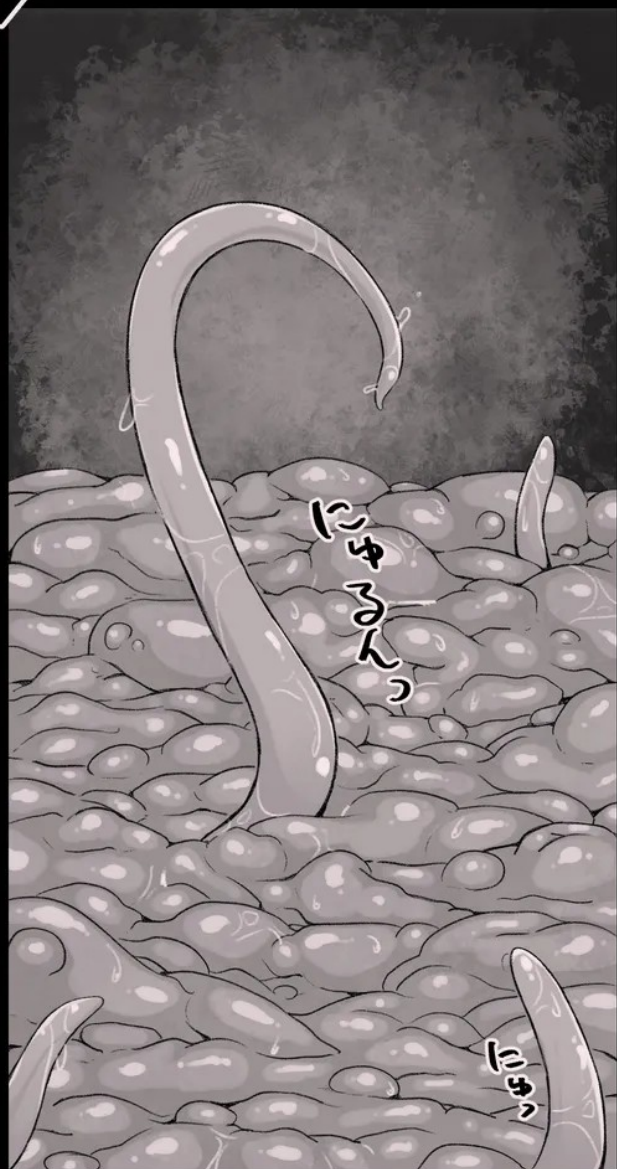
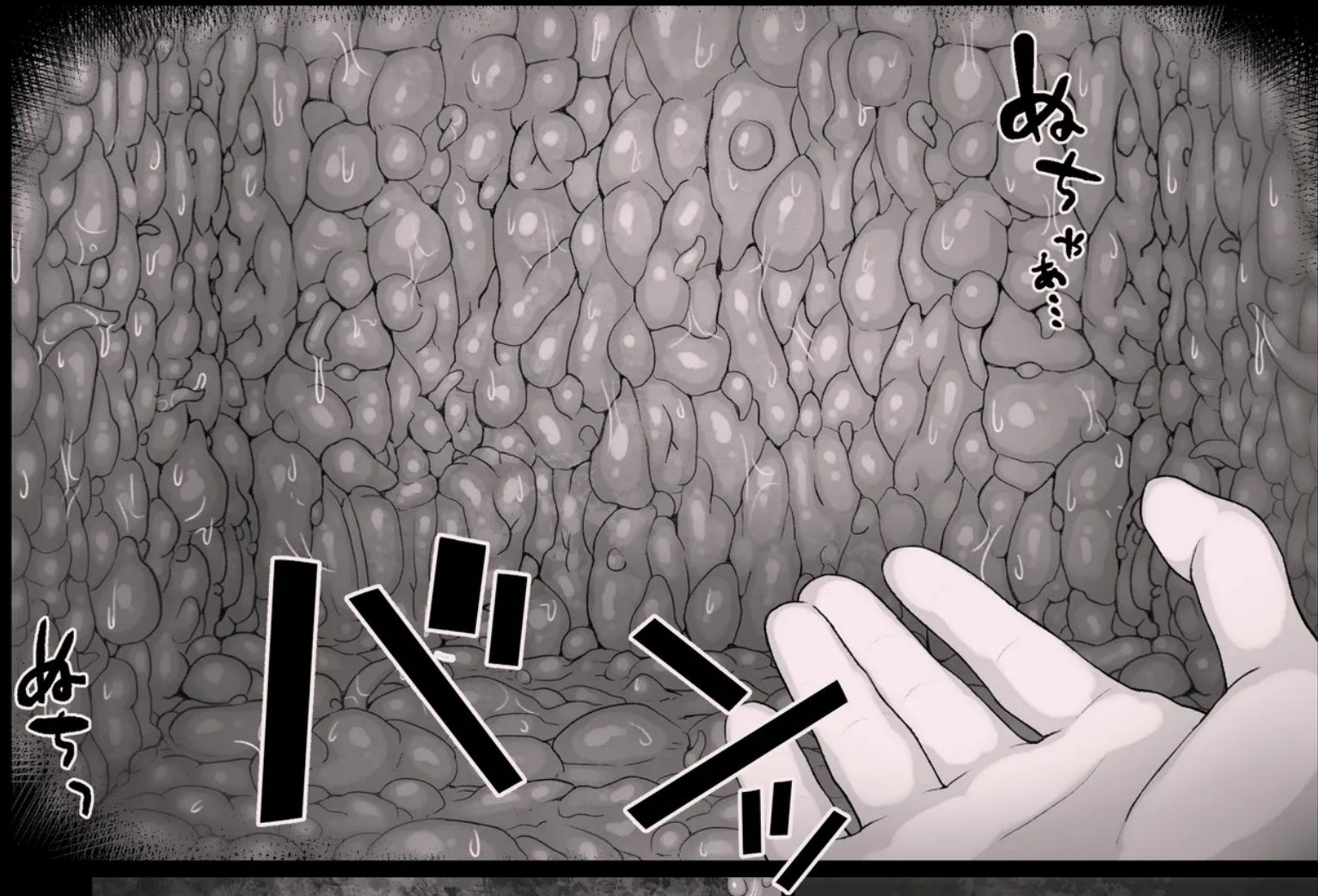






ほ"やあ...







ジュジュ

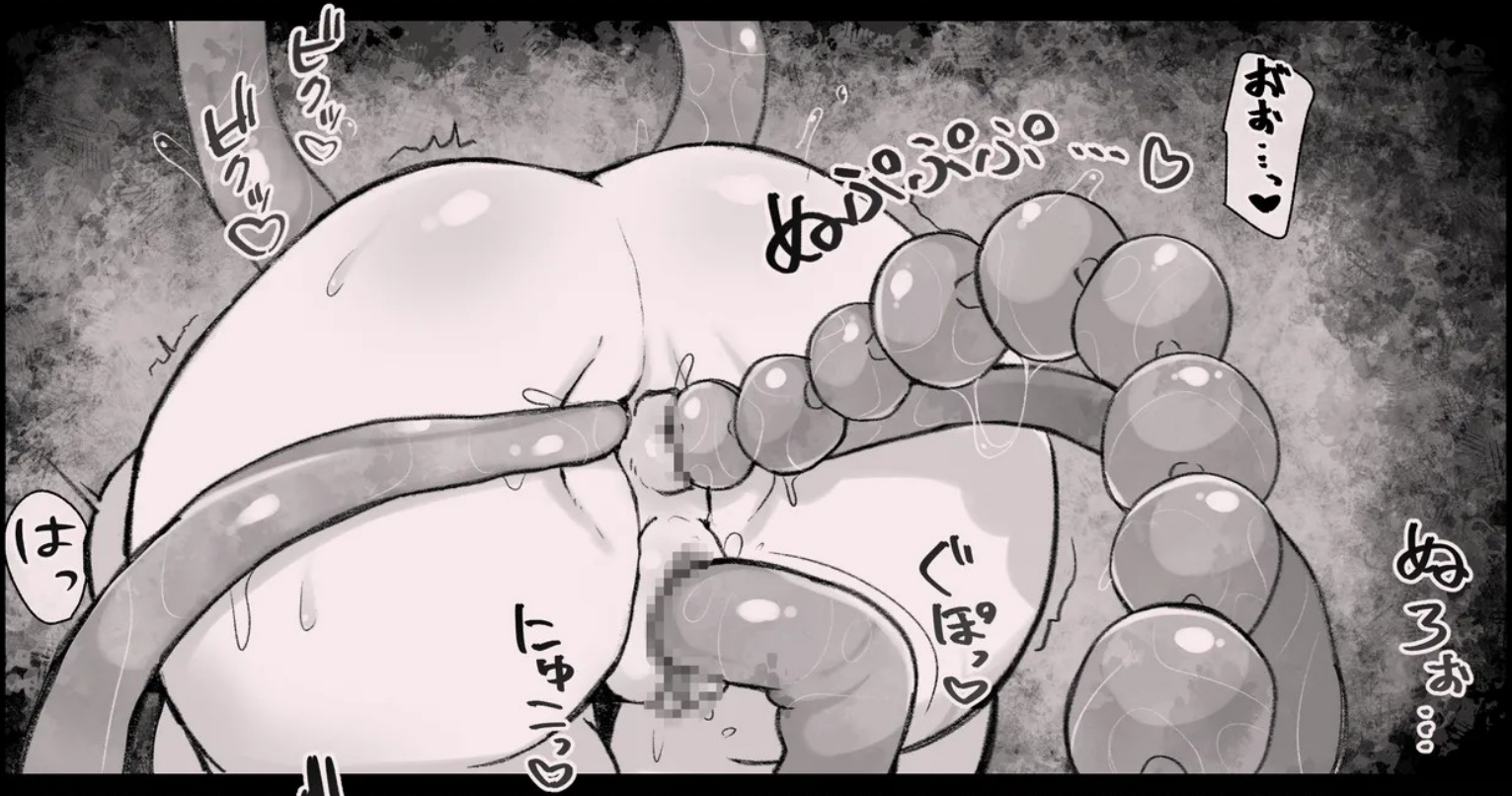
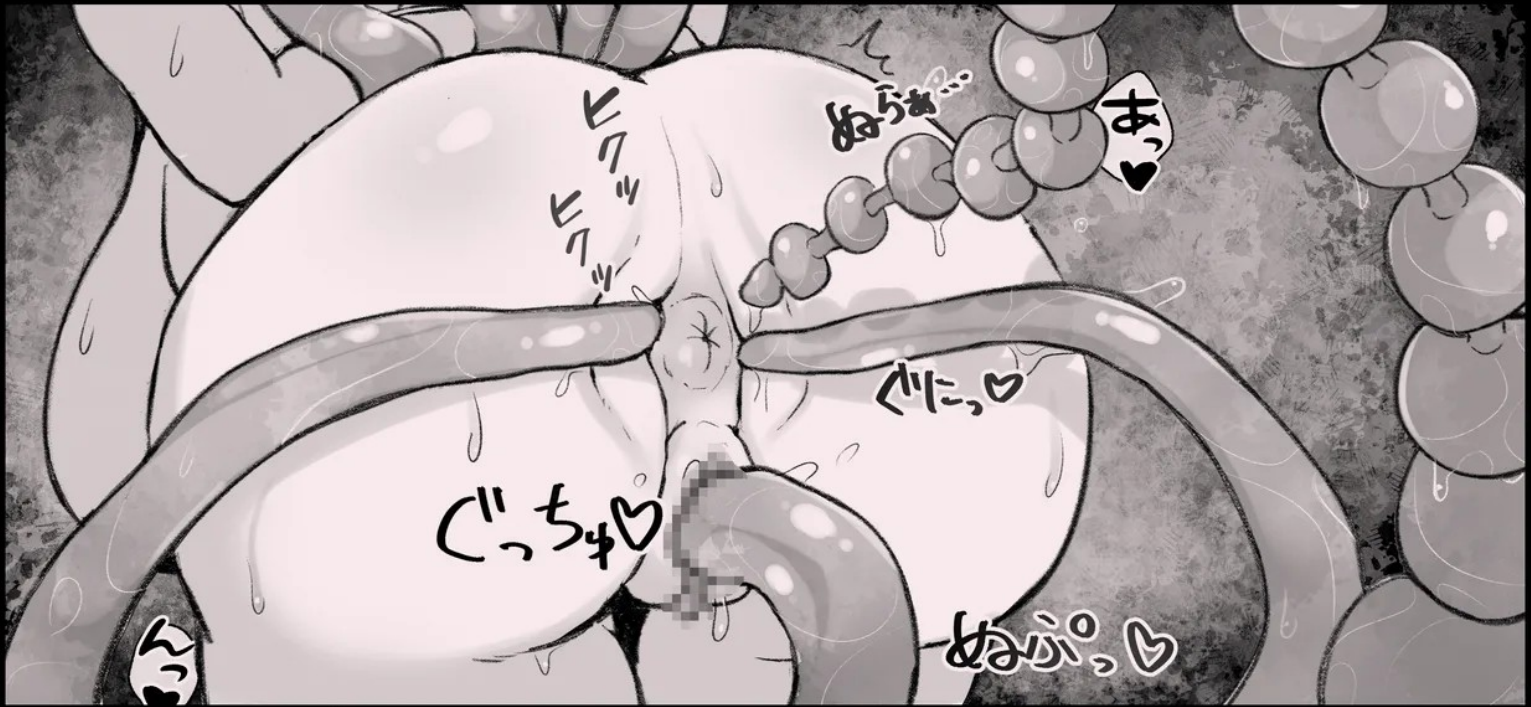
おあま...

たのしみ♡

ぬすき

いちご

ヌル
ヌル...





ぬるぽっ

ドキ♡

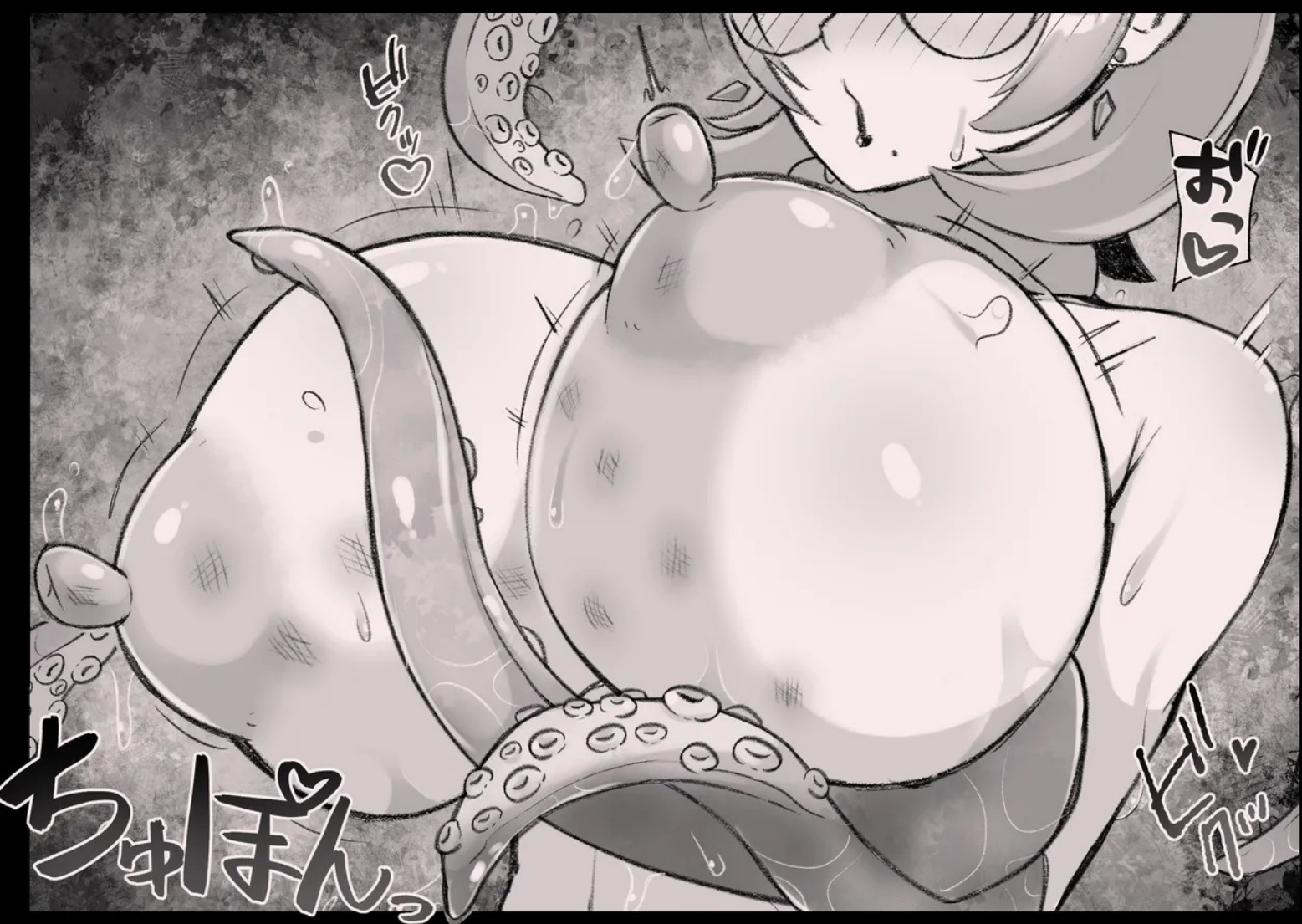
ドキ♡

ぬっ♡

ぬっ

ぬち♡

ずん





















ぬすっ

びっ
♡

お
お
こ
こ
♡

ぐ
ぐ

む
ち
ゅ
♡

ぐ
ぐ

し
ゅ
ゅ
♡

し
ゅ
ゅ
♡

クリ

クリッ

し
ゅ
ゅ
♡

し
ゅ
ゅ
♡

ス
ッ
ッ

ぬ
す
っ

